

でっち上げ「酒気帯び」を理由にした 不当処分に抗議し撤回を求める集会開催！

2月22日、東京第二運輸所分会は、京橋区民館で、『でっち上げ「酒気帯び」を理由にした不当処分に抗議し撤回を求める集会』を開催しました。会社は2月16日、東京第二運輸所分会齊藤書記長に、「酒気帯び」出勤を理由に、不当にも減給処分を言い渡しました。しかし、「酒気帯び」出勤は会社のでっち上げであり絶対許すことはできません。庭山分会長は、①会社は、組織拡大の報復と、労務管理の破綻を更なる職場からの引き締で乗り切るため、「酒気帯び」出勤をでっち上げ不当な処分を出してきた。②アルコール検知器で2回も検査しても会社の基準値以下であり、会社も一度は乗務させるとした。③しかし、突然管理者がひどく「酒臭い」と騒ぎ出した。無理やり事件をつくり乗務を降ろし、翌日日勤指定をした。この事実をしっかりと訴え、会社の処分がいかにもでたらめかを広め処分撤回に向け闘っていくと、怒りをこめてあいさつをしました。



JR東海労本部、新幹線地本、各分会からも、でっち上げ「酒気帯び」を理由にした不当処分は絶対認められない。職場から撤回に向け闘っていく。と力強い連帯のあいさつがありました。また、新幹線地本から齊藤書記長に共に闘う決意を込めて檄布が送られました。

齊藤書記長は、「多くの仲間から激励の言葉、FAXになどに勇気もらった」「会社は酒臭いといっていたが周りの人に聞いても誰も酒臭いとはいわなかった」「アルコール検知器で検査したが基準値以下であった」「酒気帯び出勤をでっち上げての不当な処分だ」「処分撤回に向け、自らが先頭に立ち闘っていく」と決意を述べました。抗議集会アピールを全体で確認し、怒りを込めた団結ガンパローで集会は終了しました。

